

コミュニケーション機能拡張のための機械学習基盤と クロスモーダル信号生成

亀岡 弘和^{1,a)}

概要：音声コミュニケーションには、障がいや加齢による衰え、外国語の会話能力、緊張状態など、物理的・能力的・心理的な状態に起因する様々な形の制約が存在する。これらの制約を克服し、柔軟で円滑なコミュニケーションを可能にする基盤技術を構築するため、著者らはこれまで、音声変換・音源分離技術の高精度化・効率化・柔軟化と、音以外のメディアの活用によるクロスモーダル信号生成の検討を行ってきた。本講演ではこれらの取り組みについて紹介する。

キーワード：コミュニケーション機能拡張，深層学習，音声変換，音源分離，クロスモーダル信号生成

¹ 日本電信電話株式会社 NTT コミュニケーション科学基礎研究所
NTT Communication Science Laboratories, NTT Corporation,
Atsugi, Kanagawa 243-0198, Japan

^{a)} hirokazu.kameoka.uh@hco.ntt.co.jp